

科目名	人文学演習Ⅱ E					単位	2.0
担当教員	眞有 澄香						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	3334

●授業のテーマ

日本近現代文学の研究

●到達目標

自ら考え、調べることができる。また、自分の研究テーマについての基礎的事項を説明できる。その上で、研究の方向性や方法を的確に表現できる。

●学習内容(授業概要)

明治以降の日本では、封建制度からの脱却を計り、民主化を進めながら、実は旧弊の価値規範が根深く残存していた。日本近現代文学は、そうした旧来の因習と自我との葛藤であったといっている。本演習では、日本近現代文学を対象として、各自が研究する作家・作品についてそれぞれ調査・研究を行い、その成果を発表する。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. ガイダンス
2. 自分の研究テーマに関する中間報告—作家について
3. 自分の研究テーマに関する中間報告—作品について
4. 自分の研究テーマに関する中間報告—時代背景について
5. 自分の研究テーマに関する中間報告—同時代文学について
6. 自分の研究テーマに関する中間報告—先行研究について
7. 研究の方向性について検討する—テーマについて
8. 研究の方向性について検討する—方向性について
9. 研究の方向性について検討する—方法論について
10. 研究の方向性について検討する—調査方法について
11. 研究の方向性について検討する—課題について
12. 卒業論文の目次を作成する—問題意識との整合性
13. 卒業論文の目次を作成する—方向性と方法論
14. 卒業論文の目次を作成する—動機と課題
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに、自分の意見をまとめておく。授業後は、自分のテーマについて調べる。

●成績評価方法・基準

期末レポート（80%）に、受講態度や研究への取り組み（20%）を加味して評価する。

●テキスト（必携）

特になし

●参考文献／その他
授業時に適宜指示する。

●履修上の注意
特別な理由がない限り欠席しないこと。
発表の準備や研究への真摯な取り組みはもちろん、
他の学生の発表にも積極的、意欲的に参加すること。